

## ドイツ語 (初級 B) / A ドイツ語 第 21 回 指示代名詞と不定代名詞、再帰代名詞と再帰動詞

範囲: 教科書第 13 課 A, B (S. 51-54)

### 《今回の基本例文》

69. Ich kann mich an die Sache nicht mehr erinnern. (CD66-5)

もう私はそのことを思い出せない。

[再帰代名詞 **sich**、再帰動詞、特定の前置詞と結ぶ再帰動詞による熟語 (1)、(話法の助動詞)]

70. Er freut sich auf den Ausflug. (CD66-1)

彼はピクニックを楽しみにしている。

[再帰代名詞 **sich**、再帰動詞、特定の前置詞と結ぶ再帰動詞による熟語 (2 a)]

71. Wir haben uns über Ihr Geschenk sehr gefreut. (CD66-2)

私たちはあなたの (あなたがたの) プレゼントをたいへん喜んでおりました。

[再帰代名詞 **sich**、再帰動詞、特定の前置詞と結ぶ再帰動詞による熟語 (2 b)、(現在完了 (haben 支配))]

72. Interessierst du dich für klassische Musik? (CD66-6)

君はクラシック音楽に興味があるのか?

[再帰代名詞 **sich**、再帰動詞、特定の前置詞と結ぶ再帰動詞による熟語 (3)]

## I 指示代名詞・不定代名詞

### A. 指示代名詞・不定代名詞 (S. 51)

#### ■ 代名詞のまとめ

◇ 代名詞としては、

- ・ **所有代名詞**: **mein** 型 (教科書第 4 課)
  - \* むろん不定冠詞型 (**mein** 型) の変化をした。
- ・ **人称代名詞**: 教科書第 6 課
  - \* 教科書 S. 26 の表のような特殊な変化をした。
- ・ **指示代名詞**: **dieser** や **solcher** (教科書第 4 課)、**der** など (今回の範囲)
  - \* **dieser** や **solcher** は定冠詞型 (**dieser** 型) の変化をした。
- ・ **不定代名詞**: **jeder** (教科書第 4 課)、**etwas**、**nichts**、**man** など (例文中で何度か登場)、**einer** など (今回の範囲)
  - \* **jeder** は定冠詞型 (**dieser** 型) の変化をした。一方、**etwas** や **nichts** は無変化で、**man** はそもそも 1 格しかなかった。
- ・ **再帰代名詞**: **sich** (今回の範囲)
- ・ **関係代名詞**: のちほど教科書第 15 課で学習する

などがある。

\* いずれも概念としては英語と同じと考えてよい。

**1 指示代名詞 der**

- ◇ 「これ、それ、あれ」。英語の *this* や *that* に相当。
- ◇ 変化形は、下記の太字部分を除いて冠詞 *der* とほぼ同じ。

	男性	女性	中性	複数
1 格	der	die	das	die
2 格	<b>dessen</b>	<b>deren</b>	<b>dessen</b>	<b>deren</b>
3 格	dem	der	dem	<b>denen</b>
4 格	den	die	das	die

- \* 2 格の *dessen* と *deren*、複数 3 格の *denen* のみ独自。あとは定冠詞と同じ。
- \*\* *das* のみは性・数に関係なく「それ」の意味で使用可能。*das ist ...*はこの *das* にあたる。

- ◇ ただし、定冠詞 *der* がアクセントを持たないのとは異なり、いずれも強く発音する。
- ◇ 基本的な用法は、

- ・「**これ、それ、あれ** (モノの場合) / **こいつ、そいつ、あいつ** (人間の場合)」と強く指示したいとき (人称代名詞に置き換えても成立する場合もある)
- ・既知の名詞を受ける (やはり人称代名詞に置き換えても成立する場合もある)。

~~~~~  
 Kennst du den da? Ich meine den in Uniform.  
 君はあの男を知っているか。ユニフォームを着たあの男のことを言っているんだよ。  
 \* 第1文は強い指示の用法、第2文は既知の名詞を受ける用法。

~~~~~  
Das ist mein Bruder / meine Schwester.  
 これが私の兄弟/姉妹です。  
Das sind meine Freunde.  
 これが私の友人たちです。  
 \* 以上2つは男性/女性/複数を *das* で受ける場合。もちろん、複数だと動詞もそれに対応した変化をする。

- ・同一語の反復を避けるために用いる。英語の *that of ...* や *those of ...* に相当。

~~~~~  
 Das sind die Fotos von meiner Familie und die von meinen Freunden.  
 これは私の家族の写真と、私の友人たちのそれです。  
 \* この *die* は *die Fotos* を指すが、反復を避けるために指示代名詞を使っている。

- ◇ 2 格の *dessen*, *deren* は所有代名詞や人称代名詞が使用できないときに使用し、後置ではなく前置する。

- \* やや高度な事項であり、いまは特に覚えなくてもよい。

~~~~~  
 Petra hasst Renate und deren Mann.  
 ペトラはレナーテとその (=レナーテの) 夫を嫌っている。  
 \* この場合、指示代名詞 *der* の 2 格は直前の同じ性数の名詞を受けるので、*deren* はレナーテを指す。

~~~~~  
 Petra hasst Renate und ihren Mann.  
 ペトラはレナーテと彼女の (=ペトラ自身の) 夫を嫌っている。  
 \* こちらの場合、所有代名詞は主語を指すと考えるのが普通である。

**2 不定代名詞 einer、keiner (S. 52)**

◇ einer は「ある人、ある一人/ある物、ある一つ」、keiner はその否定形。

◇ 変化形は dieser 型。

|     | 男性    | 女性    | 中性      |
|-----|-------|-------|---------|
| 1 格 | einer | eine  | ein[e]s |
| 2 格 | eines | einer | eines   |
| 3 格 | einem | einer | einem   |
| 4 格 | einen | eine  | ein[e]s |

|     | 男性     | 女性     | 中性       | 複数     |
|-----|--------|--------|----------|--------|
| 1 格 | keiner | keine  | kein[e]s | keine  |
| 2 格 | keines | keiner | keines   | keiner |
| 3 格 | keinem | keiner | keinem   | keinen |
| 4 格 | keinen | keine  | kein[e]s | keine  |

\* 不定冠詞 ein や mein 型ではなく dieser 型であり、男性 1 格、中性 1 格と 4 格にも語尾が入ることに注意。

◇ 似た意味の不定代名詞として、jemand (誰か、somebody) および niemand (誰も～ない、nobody) がある。

|     | 男性         |
|-----|------------|
| 1 格 | jemand     |
| 2 格 | jemand(e)s |
| 3 格 | jemand(em) |
| 4 格 | jemand(en) |

|     | 男性          |
|-----|-------------|
| 1 格 | niemand     |
| 2 格 | niemand(e)s |
| 3 格 | niemand(em) |
| 4 格 | niemand(en) |

\* 両者ともに文法上は男性として扱われるが (指示代名詞 der で受けられる、など)、意味のうえでは男性に限らない。

\*\* 「人の 3 格」を表す辞書記号の *jm.*、「人の 4 格」を表す辞書記号の *jn.*などがこの jemand の変化表に由来することはすでに学んだ。(⇒授業第 9 回配付資料 S. 2)

◇ 基本的な用法は、

- ・ **einer** なら「ある一人の人、ある一つの物/こと」(*some one*)、**keiner** なら「誰一人として/何一つとして～ない」(*no one*) として、単独で使用する

~~~~~

Damals hat mir keiner [nur einer] geholfen.

そのとき誰も私を助けてくれなかった。/ただ一人だけが助けてくれた。

\* この **keiner** は主語。特に女性や複数人が想定されていない場合、男性形を用いる。

Ein[e]s darf man nicht vergessen.

一つ忘れてはいけないことがある。

\* この **ein[e]s** は **vergessen** の 4 格目的語。人間ではなく「こと」なので中性形を用いている。

~~~~~

- ・ 既知の不定冠詞つきの名詞を受ける。**einer**+2 格で英語の *one of the ...* に相当。

Hast du einen Führerschein?

君は運転免許証を持っているか。

- Ja, ich habe einen. / Nein, ich habe keinen.

うん、持っているよ。/いや、持ってないよ。

Wir nahmen an einem der Tische Platz.

私たちはテーブルの一つに向かって座った。

\* この **einem** は **einem Tisch** を受けており、複数 2 格の **der Tische** がそこにかかって、「(複数の) 机のうちの一つ」の意味になる。要するに、英語の *one of the ...*。

~~~~~

## II 再帰代名詞と再帰動詞

### B. 再帰代名詞・再帰動詞 (S. 52)

#### 1 再帰代名詞

再帰代名詞 = sich (基本形)  
→ 主語と同じもの (自分自身) を指す

◇ 主語と同じものを指す3格や4格の代名詞を再帰代名詞といい、基本形は **sich** である。英語の *oneself* に相当する。辞書などでは、3格の **sich** を **sich<sup>3</sup>**、4格の **sich** を **sich<sup>4</sup>** のように表記している (もちろん実際の文面では数字は書かない)。

◇ 3人称のときは **sich** をそのまま使用するが、1人称や2人称のときは人称代名詞と同じかたちを用いる。

	1人称		2人称		3人称		2人称 (敬称)
	単数	複数	単数	複数	単数	複数	
3格	mir	uns	dir	euch	sich		sich
4格	mich	uns	dich	euch	sich		sich

\* 英語の *oneself* を *myself, ourselves, yourself, yourselves, himself, herself, itself, themselves* に変化させるのと同様と考えればよい。

◇ 基本的な用法は、

- ・「**自分自身に、自分自身を**」を意味する。

Er nahm die Schuld auf **sich<sup>4</sup>**.

彼は責任を (自分自身のうえに) 引き受けた。

Hast du deinen Führerschein bei **dir**?

君は運転免許証を (自分自身の) 手元に持っているかい。

Er rief seine drei Söhne zu **sich<sup>3</sup>**.

彼は3人の息子たちを (自分自身のもとへ) 呼び寄せた。

\* **sich** について上付き文字の3や4は格関係の説明のため便宜的に入れたもので、本来は書かれない。

・主語が複数形るとき、3格目的語や4格目的語に再帰代名詞をとると、「互いに」の意味になることがある (**相互代名詞**的用法)。

Wir helfen **uns**.

私たちは互いに助け合う。

Hans und Peter helfen **sich<sup>3</sup>**.

ハンスとペーターは互いに助け合う。

\* 本来の相互代名詞は **einander**。上記の例文にこちらを用いてもよい。

\*\* 同じく、**sich** について上付き文字の3は格関係の説明のため便宜的に入れたもので、本来は書かれない。

## 2 再帰動詞 (S. 53)

- ◇ 3 格目的語や 4 格目的語に再帰代名詞をとることで特定の意味を表す動詞を、**再帰動詞**という。英語でも再帰動詞は見られるが (*enjoy oneself* など)、ドイツ語では英語よりはるかにその数が多い。
- ◇ 再帰動詞としての用法を持つ動詞を辞書で引くと、それとわかる記号が記されており (再帰など)、不定詞句のかたちで再帰動詞としての用法が記述されている。各自の辞書で確認しておくこと。
- ◇ *sich*<sup>4</sup> を用いた再帰動詞。

「〈4 格〉を〇〇させる」意味の他動詞の〈4 格〉に *sich* を代入  
→ 「自分を〇〇させる」 = 「〇〇する」

### ・ *sich*<sup>4</sup> *verspäten* / *sich*<sup>4</sup> *beeilen* : 遅刻する / 急ぐ

\* *verspäten* の変化形は *arbeiten* 型。もともと「〈4 格〉を遅らせる」という意味の他動詞であり、その意味でも使ってよい。一方、4 格目的語の部分に再帰代名詞が入ることで、「自分を遅らせる」つまり「遅刻する」の意味になる。

\*\* *beeilen* はもともと他動詞「〈4 格〉を急がせる」。上と同様に再帰動詞をつくる。

Ich verspäte mir. / Du verspätetest dich. / Er verspätet sich.

Wir verspäten uns. / Ihr verspätet euch. / Sie verspäten sich.

私は / 君は / 彼は遅刻する。

我々は / 君たちは / 彼らは遅刻する。

### ・ *sich*<sup>4</sup> *setzen* : 席に着く、座る

\* *setzen* はもともと他動詞「〈4 格〉を置く」

Setz dich bitte auf den Stuhl!

どうぞ椅子に座りたまえ。

\* 動作としての「座る」のこと。移動の目的地のため、*auf* は 4 格と結ぶ。

\*\* 「座っている」状態は *sitzen* で表す。静止した位置のため、*neben* は 3 格と結ぶ。 (⇒教科書 S. 23)

### ・ *sich*<sup>4</sup> *erkälten* : 風邪をひく

\* *erkälten* はもともと他動詞「〈4 格〉を冷やす」。

Er hat sich stark erkältet.

彼はひどく風邪を引いた。

- ◇ *sich*<sup>3</sup> を用いた再帰動詞: 「(自分のため) 〇〇する」の意味になるものが多い。

### ・ *sich*<sup>3</sup> *etw.* *wünschen* : 〈4 格〉を (自分のために) 望む

Ich wünsche mir ... / Du wünschst dir ... / Er wünscht sich ...

Wir wünschen uns ... / Ihr wünscht euch ... / Sie wünschen sich ...

私は (私自身のため) / 君は (君自身のため) / 彼は (彼自身のため) ~を望む。

我々は (我々自身のため) / 君たちは (君たち自身のため) / 彼ら (彼ら自身のため) ~を望む。

### ・ *sich*<sup>3</sup> *etw.* *überlegen* : 〈4 格〉を熟慮する

Ich werde es mir noch einmal überlegen.

そのことはもう一度よく考えておこう。

### 3 再帰動詞+前置詞の熟語

- ◇ 英語にもあるように (*help oneself to ...*など)、再帰動詞と前置詞を組み合わせた熟語が存在する。
- ◇ 再帰動詞+前置詞の熟語の例。

- **sich<sup>4</sup> an et<sup>4</sup>. erinnern** : 〈4格〉を思い出す

- \* erinnern は前置詞 an と結ぶ一般の他動詞としても使え、*jn. an et<sup>4</sup>. erinnern* で「〈人の4格〉に〈物の4格〉を思い出させる」の意。*jn.*に *sich<sup>4</sup>* (自分) を代入すると、「自分に〈物の4格〉を思い出させる」、つまり「〈物の4格〉を思い出す、記憶している」。

- (一般) Er **erinnert mich an** meinen gestorbenen Bruder.

- 彼は、私に死んだ兄弟を思い出させる。(=彼を見ると、私は死んだ兄弟を思い出す。)

- (再帰) Ich **erinnere mich an** meinen gestorbenen Bruder.

- 私は死んだ兄弟のことを覚えている。

- **sich<sup>4</sup> auf et<sup>4</sup>. freuen** : 〈4格〉を楽しみにしている

- **sich<sup>4</sup> über et<sup>4</sup>. freuen** : 〈4格〉を喜ぶ

- \* freuen は一般の他動詞「〈人の4格〉を喜ばせる」としても使うことができる。*jn.*のところに *sich<sup>4</sup>* (自分) を代入すると、「自分を喜ばせる」、つまり「喜ぶ」の意味になる。この場合、前置詞 auf+4格を用いれば「未来のことを楽しみにしている」、前置詞 über+4格を用いれば「現時点ですでに起きていることを喜ぶ」の意味になる。

- (一般) Es **freut mich sehr**, dass du endlich kommst. (⇒教科書 S. 35)

- 君がとうとう来てくれたことが、私を喜ばせる。

- (=君がとうとう来てくれて、私はうれしい。)

- \* es は仮主語であり本来の主語が dass 節であることは、前期に説明した通り。

- (再帰) Er **freut sich auf** die Weihnachtsferien.

- 彼はクリスマス休暇を楽しみにしている (＝時点はクリスマス休暇以前)。

- (再帰) Er **freut sich über** die Weihnachtsferien.

- 彼はクリスマス休暇に喜んでいる (＝時点はクリスマス休暇中)。

- **sich<sup>4</sup>. für et<sup>4</sup>. interessieren** : 〈4格〉に興味がある。

- \* interessieren は一般の他動詞「〈人の4格〉の興味を引く」としても使うことができる。*jn.*に *sich<sup>4</sup>* (自分) を代入すると、「自分の興味を引く」、つまり「興味がある」の意味になる。

- (一般) Das **interessiert** mich nicht.

- そのことは私の興味を引かない。(=私はそのことに興味がない。)

- (再帰) Ich **interessiere mich für** Physik.

- 私は物理学に興味がある。

- **sich<sup>4</sup>. um et<sup>4</sup>. kümmern** : 〈4格〉に気を配る、〈4格〉の面倒を見る

- \* kümmern はもともと一般の他動詞「〈人の4格〉をわずらわせる」。*jn.*に *sich<sup>4</sup>* (自分) を代入すると、「自分をわずらわせる」、つまり「気を配る」の意味になる。

#### 連絡先など

教員のメールアドレス : [tokan@nifty.com](mailto:tokan@nifty.com) 授業のウェブサイト (進捗表示、配付資料あり) : <http://hhasegawa.la.coocan.jp/lecture/>